

【様式第 2 号「8 研修計画」の記入例】

【様式第2号「8 研修計画」の記入例】

研修1年目

従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
・トマト、ピーマン等の育苗作業 ・トマト、ピーマン等の定植作業 ・トマト、ピーマン等の整枝・誘引作業 ・トマト、ピーマン等の収穫作業 ・土づくり作業	・農作物の播種、温度管理技術等 ・定植の施肥、マルチ張り技術等 ・生育ステージに応じた整枝・誘引技術等 ・選別、包装、出荷の技術等 ・土壌消毒、施肥散布技術（一人で作業できる）

研修2年目

従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
・トマト、ピーマン等の施肥作業 ・トマト、ピーマン等の病虫害防除作業 ・トマト、ピーマン等の除草作業 ・土づくり作業 ・<u>農業簿記</u>	・二毛作の定植準備技術 ・防除、葉面散布の実践技術等 ・農作業機械操縦技術等 ・土壌消毒、施肥散布技術、他従業員への指導 ・<u>農業簿記の仕組みの理解等</u>

研修3年目

従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
・気温変化に伴う管理作業 ・トマト、ピーマン等の残さ処理作業 ・トマト、ピーマン等の温度・水管理 ・トマト等の加工品の製造等 ・<u>出荷数量や経費の取りまとめ作業等</u>	・低温時の作物管理技術等 ・マルチ等資材の撤去方法、残さの処理方法等 ・養液の調合方法、水管理技術等 ・収穫物の保存と加工技術等 ・<u>損益計算技術等</u>

研修4年目

従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
・トマト収穫作業（責任者） ・定植指揮、段取りや人員管理技術等 ・農業機械のメンテナンス ・<u>次年度の作付け計画作成</u> ・<u>パート採用業務等</u>	・選別、出荷等の管理、他従業員への指導 ・パートへの作業指示・指導技術等 ・農閑期のメンテナンス技術等 ・<u>栽培品種の選定、消費者ニーズの理解等</u> ・<u>繁忙期の人員管理技術</u>

- 研修を通じて習得を目指す技術等が具体的に分かるように記載してください。
- 研修期間を通じて、どのように段階的に技術習得を目指すか分かるように記載してください。従事させる作業が前年と同じ場合には、どの程度の習熟度（一人で作業できる、他の従業員への指導等）を目指すか分かるように記載するなどしてください。各年の計画が全く同じ場合は、再提出を求めることがあります。
- 各年、作業及び習得させる技術について、それぞれ最低5項目以上記載してください。
- 法人等雇用就農者が支援終了後に独立する場合は、経営ノウハウに関する研修は必須です。（例：波線部分）

（参考：農業法人等の要件イ 一部抜粋） 研修はおおむね年間300時間以上行うこととし、作物の栽培管理技術又は家畜の飼養技術は必須とする。また、支援終了後に独立等することを前提とした法人等雇用就農者に対しては、これに加え経営ノウハウを身に付けるための研修の実施を必須とする

〔タマネギ・ブロッコリー〕

	従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
研修 1年 目	・水田準備 ・ブロッコリーの播種 ・タマネギの苗葉カット ・タマネギの定植 ・ブロッコリーの収穫 ・タマネギの収穫	・耕運時の切り返しをスピーディーに行えるようにする技術 ・播種のスムーズな作業体系を指示する技術 ・正確な高さで葉をカットする技術 ・圃場状態と定植深度を調整する技術 ・的確な規格でより早い収穫を指示する技術 ・収穫時期の見極めと適宜な出荷先を判断する技術
研修 2年 目	・田植え作業 ・水稻草刈、水稻追肥 ・土壌分析、施肥計画 ・大豆の除草剤散布 ・サブソイラーによる弾丸作業、タマネギ定植 ・ブロッコリーの収穫作業 ・マルチのタマネギの収穫	・土壌状態に合わせた植え付け深さを調整する作業 ・草取り時期のタイミングを見極める技術、水を止めるタイミングを見極め作業する ・土壌分析と前年の作物の生育、経費を踏まえ施肥計画をたてる ・乗用管理機の高さと風向き強さを考慮し散布する技術 ・水平を保ちながら深さと間隔を正確にとる技術、土壌状態を判断し鎮圧に注意し作業する技術 ・収穫時期の見極めと収穫能率を向上させる作業体系を組み立てる ・収穫機の操作の際マルチを巻き込まないように作業する

〔ネギ〕

	従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
研修 1年 目	・新規開拓や販売促進 ・トラクター運転等の作業 ・薬剤散布等の作業 ・ネギの収穫作業と運搬作業 ・施肥・播種・散水・収穫 ・ネギ洗浄・カット・計量	・新規開拓の営業と販売促進の仕方 ・農機具トラクター等の操作方法と注意事項の確認 ・薬剤の種類と散布の仕方 ・ネギを傷つけない収穫、運搬の商品管理技術 ・ネギ栽培の流れと技術 ・カットネギの機械操作と計りの使い方
研修 2年 目	・加工品新商品開発 ・堆肥投入等土づくり作業 ・ネギの種まき・散水作業 ・規格毎の選別・調整作業 ・販路新規開拓や販売促進 ・ネギ洗浄・カット・計量	・加工品新商品開発など試作、市場調査と品質管理検査等 ・堆肥投入、トラクター操作等の土づくり技術 ・均等な種まきと均等な生育のための散水と補助散水作業等の初期生産管理技術 ・規格選別、調整、結束、箱詰め等の包装作業などの出荷調整技術 ・展示会、販売促進等による販路開拓技術 ・能率向上の洗浄、カット、計量、パック詰め作業などのカットネギの調整技術

〔レンコン・稲ワラ〕

	従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
研修 1 年 目	・タマネギの選果(箱、計量) ・早期米稲わらの収集 ・稲わらの収集 ・レンコンの収穫 ・レンコンの選果 ・レンコンの定植、稲わらの出荷	・箱作り、印の押し方技術、違うサイズへの混入防止、計量方法 ・トラクターの操作方法とトラクターでの圃場内の動き方 ・ウインドローの上手な作り方技術 ・掘り残しのない進み方、レンコンの探り方、レンコンを折らずに収穫する技術 ・箱の組み立て方、内ビニールのかけ方、包丁の扱い方、秀品・優品の見極め技術 ・種レンコンの植え付け技術 わらの積込み、荷下ろし方法
研修 2 年 目	・タマネギの選果と数量管理 ・WC Sの収穫、集積 ・稲わらの乾燥、出荷 ・レンコンの収穫 ・防鳥糸張、レンコンの選果、箱詰め ・稲わらの出荷、配達	・エアーでの皮むき技術、選果機の操作方法、等級別の数量管理方法 ・ラップしたWC Sが破れないようにスプレー液を利用した積込み技術 ・完全乾燥用、ラップ用の見極め技術 ・安全なトラック運転技術レンコン収穫機の操作方法 ・防鳥糸の張り方技術レンコンの選別、計量、梱包、荷作り技術 ・わら用のシート・ロープ掛け技術、ラッシングの締め方

〔葉物野菜〕

	従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
研修 1 年 目	・小松菜、ミズナの施肥 ・農機具使用 ・発酵肥料製造 ・有機JAS書類の記録 ・販売先、顧客対応 ・ハウレンソウや小松菜の選別・袋詰め・箱詰め	・施肥機による安全な操作での施肥作業と適正な肥料成分施肥の習得 ・トラクターの安全な操作方法の習得と耕うん作業と整地作業 ・微生物発酵肥料（ボカシ肥料）の作成方法と実際の作業 ・有機JAS法に基づく栽培管理記録書、格付け記録書、JASマーク管理記録簿の作成 ・取引先との対応や売り込み ・野菜の選別、計量、袋詰め作業と出荷先に合わせた箱詰め作業の習得
研修 2 年 目	・ハウレンソウ、春菊の播種 ・施肥設計 ・灌水管理と生育観察 ・有機JAS法に関する研修 ・有機JAS監査の対応 ・作業管理	・確実な点播きと品目切替え ・土壌分析結果で施肥量を定める ・灌水作業を行い、生育観察し記録して次作へフィードバックする ・JAS法に合わせた慣行栽培、有機栽培への切替え時の実際の作業 ・有機JAS法に基づく栽培管理記録書、格付け管理記録書、JASマーク管理記録簿との見直しと必要書類の準備 ・収穫、袋詰め作業の時間配分と人員配置

〔米・麦・大豆〕

研修
1年
目

従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
・ 麦の収穫作業 ・ 田植え準備・田植え作業 稲の防除 ・ 水稻収穫後の出荷作業 ・ 麦の播種技術の習得 ・ 麦の管理技術の習得 (作業適期見極めと麦踏) ・ 麦の防除	・ コンバインの運転操作の仕方、トラクターの運転操作と麦 田跡の荒起こしロータリーの深さ調節、ドライブハローの運 転操作の仕方、田植機の運転操作の仕方 ・ 水稻圃場での乗用管理機の運転操作の仕方 ・ 玄米の袋詰め方法、パレットへの積上げ方、フォークリフ トによる出荷方法 ・ 播種作業ができる圃場の見極め方、種子消毒のやり方、播 種機の取付けと播種量の調節 ・ 鎮圧の時期と追肥時期の見極め方、テラー鎮圧ローラー の運転操作の仕方 ・ 麦圃場での管理機での防除のやり方

研修
2年
目

・ 麦の収穫作業 ・ 水稻植付け作業水稻の管理 技術 ・ 大豆の管理作業水稻収穫後 の乾燥調整 ・ 麦播種技術の習得 ・ 麦の管理作業技術の習得(追肥) ・ 麦の防除	・ コンバインによる麦収穫 ・ 田植え機の植付け深さと苗取り量の調整水稻の水管理方 法、水の深さの調節、中干しの仕方、トラクターカルチのや り方 ・ 乾燥機の操作の仕方、水分の調節方法、粃摺り機の操作方 法 ・ トラクター麦播種機での種子・肥料調節、種子まき深さと スピードの調節 ・ ブロードキャスターの追肥肥料の量の調節とスピードの調 節 ・ 乗用管理機の散布量調節と圃場の回り方
--	--

〔ミカン〕

研修
1年
目

従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
・ 堆肥散布 ・ 草倒しと草刈り ・ 収穫・選果・箱詰め ・ 収穫と樹の葉面散布 ・ 晩柑の収穫と貯蔵 ・ 施肥と液肥の土壌散布	・ 一本当の量の決め方と散布の仕方 ・ 草倒し、草刈り、草の生え方と草の名前を覚える、草生栽 培の意義 ・ 分割採集の仕方 ・ 品種と系統別の収穫の仕方、ミネラル液の葉面散布でうま いミカン作り ・ 収穫後の保存と貯蔵技術の習得 ・ 施肥のやり方、土壌散布の方法と液肥の量を覚える

研修
2年
目

・ 堆肥の施肥 ・ 草刈りとつる取り ・ 収穫、選果 ・ 選果、箱詰め ・ 梱包、荷作り晩柑の収穫と 個装 ・ 中晩柑の施肥と剪定	・ 畑の中で樹を見て、施肥する位置を覚える（最適な場所な ど） ・ 能率よく草を刈る方法 ・ はじめは樹のどの部分から収穫するか、品種による違いを 覚える ・ 選果でA品・B品の分け方 ・ スピードアップのコツの習得キャリー（運搬車）の運転の 仕方 ・ 上手に運ぶ方法1年生の苗木から30年生の樹までの肥料 のやり方
---	---

〔養豚〕

	従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
研修 1年 目	・農場のバイオセキュリティ ・肥育設備の管理 ・肥育豚の飼養管理 ・農場のバイオセキュリティ ・肥育豚の飼養管理 ・農場のバイオセキュリティ	・豚舎内の洗浄、消毒、清掃の習得 ・自動給餌機、集糞用自動スクレーパーのメンテナンスの習得 ・空調設備の操作の習得 ・疾病対策（害獣・害虫駆除） ・冬季の豚舎内温度、湿度調整と換気技術の習得 ・ワクチン、薬剤を使用した疾病対策の習得
研修 2年 目	・農場のバイオセキュリティ ・肥育設備の管理 ・肥育豚の飼養管理 ・農場のバイオセキュリティ ・肥育豚の飼養管理 ・農場のバイオセキュリティ	・豚舎内の洗浄、消毒、清掃の習得 ・夏季の豚舎内温度、湿度、換気技術の習得 ・空調設備の操作の習得 ・疾病対策（害獣・害虫駆除） ・肥育豚の増体量の把握と冬季空調設備の使用技術の習得 ・ワクチン・薬剤の使用取扱いと保管の技術習得

〔牛〕

	従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
研修 1年 目	・牧草地の耕起、牧草の播種技術に関する作業 ・牧草の刈取り、乾燥、収集に関する作業 ・稲わらの乾燥、収集に関する作業 ・畜舎の防寒対策、冬場の飼育管理に関する作業 ・牛の観察、発情に関する作業 ・畜舎の衛生管理に関する作業	・ブロードキャスターでの牧草種子の播種の仕方 ・ユンボでの牧草の積み下ろしの仕方 ・サイドレーキでのわらの収集技術 ・畜舎の防寒対策と換気、消毒作業技術 ・牛の発情の見方、種付けの時間帯について ・畜舎の清掃技術、清掃手順のやり方、ショベルローダーの使い方
研修 2年 目	・牧草地の耕起、牧草の播種技術に関する作業 ・牧草の刈取り・乾燥・収集に関する作業 ・稲わらの乾燥・収集に関する作業 ・畜舎の防寒対策・冬場の飼育管理に関する作業 ・牛の発情に関する作業 ・畜舎の衛生管理に関する作業	・ブロードキャスターでの牧草種子の播種の仕方 ・ユンボでの牧草の積み下ろしの仕方 ・サイドレーキでのわらの収集技術 ・畜舎の防寒対策と換気、消毒作業技術 ・パソコンでの発情の見分け方・確認の仕方 ・ホイルローダーでの清掃の仕方、消毒液の産婦の仕方

〔花卉・野菜〕

	従事させる作業等	左記の作業において習得させる技術
研修 1 年 目	・花苗の生産管理 ・夏場の灌水作業 ・葉菜類のカットパック苗生産 ・シクラメンの出荷作業 ・農機具の運転 ・果菜類の接木作業	・シクラメンの定植技術 ・灌水技術スプリンクラーの上手な使い方 ・定植作業、灌水作業の方法 ・売店への運送・客との対応方法 ・フォークリフト、ショベルローダーの運転方法 ・ナス科、ウリ科植物の接木方法
研修 2 年 目	・鉢用土の作成 ・接木ナスの大ポット苗の生産 ・パンジー、ビオラの定植作業 ・年末年始用のハンギングバスケット作り ・エクセル培土作成 ・野菜苗の植え込み、栽培	・ピートモス、バーミキュライト、堆肥、浄水汚泥ケーキの剪定及び組み合わせ ・鉢植え植物への灌水方法 ・定植方法、灌水方法 ・苗の選定、植え込み方法 ・プラグ培土詰め込み方法 ・殺虫殺菌剤の散布方法